

「全国学力・学習状況調査の結果について」

令和5年4月18日実施の「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されましたのでお知らせします。

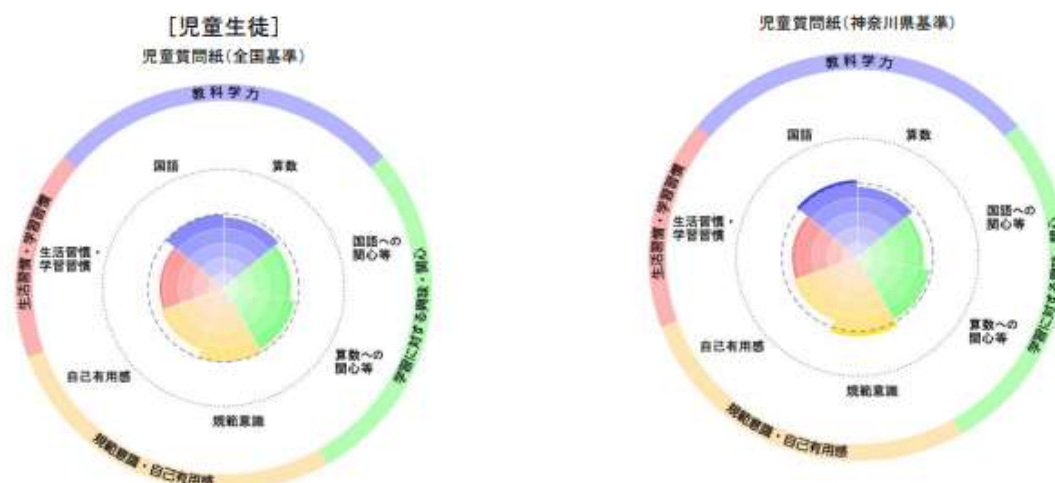
【国語】

	平均正答数	平均正答率 (%)
岡津小	9.3/14	66
神奈川県	9.3/14	66
全国	9.4/14	67.2

【算数】

	平均正答数	平均正答率 (%)
岡津小	9.6/16	60
神奈川県	10.1/16	63
全国	10.0/16	62.5

【チャート】



【教科学力】

<国語>

基本的な内容は身につけており、全ての項目で全国、神奈川県の平均と同程度でした。正答率の高い項目は「書くこと」で正答率の低い項目は「説明すること」「理由を考えて答えること」でした。説明文の要旨をまとめたり、物語文では登場人物の心情を書いたりする指導を充実することで、説明する力や読む力を育成していきます。

<算数>

全国、神奈川県の平均を下回っています。基本的な計算問題は身につけていますが、応用問題が苦手な傾向が見られます。そのため基本的な計算を関連付けて解く問題の正答率が低かったです。式と答えを書くだけでなく、どのように考えたのか解法の説明をしたり、友だちの意見を共有する場を設けたりして思考力や表現力を育てていきます。

【規範意識】

規範意識は全国、神奈川県の平均と同程度でした。「将来の夢をもっていますか」や「人が困っているときは進んで助けていますか」の項目は平均を超え、90%近い子どもたちが当てはまると回答していました。また、「はじめはどんな理由があってもいけないと思いますか」という項目も98%の子どもたちが当てはまると回答していました。一方、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できますか」という項目に当てはまると回答した子どもたちは60%に届きませんでした。コロナ禍で子どもたちとの関りが希薄になっていたことが要因として考えられます。いつでも相談できる関係性を築いていきたいと考えます。